

会 議 録

会 議 名：北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会（令和３年度第１回）

開催日時：令和３年１１月１日（月） 午前９時３０分～午前１１時

開催場所：北杜市役所 ３階 大会議室

議事次第：（１）北杜市公共施設等総合管理計画の改訂について
（２）その他

会議資料：会議次第・名簿・北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会設置要綱、議事資料

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：１人

出席委員：矢野望、小川昭二、船木良、村田茂、清水精、矢崎茂男、矢崎憲恒

欠席委員：藤原真史

事務局：上村市長、小林副市長、宮川政策秘書部長、中田企画部長、田中企画課長、
齊藤企画担当リーダー、本荘企画担当、奥石企画担当

会議録署名委員：矢野望、船木良

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会設置要綱について

5. 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長に藤原真史氏、副委員長に小川昭二氏が選出された。

6. 議事（議長 小川副委員長）

（1）北杜市公共施設等総合管理計画の改訂について

- ・事務局より、北杜市公共施設等総合管理計画の改訂案の概要や改訂スケジュールについて説明した。

（質疑応答）

- 委員
- ・公共施設の保有量を 40%縮減するということであり、経緯や北杜市の状況を踏まえるとやらなければならないことであると理解できる。地域の方の意見を聞きながら進めてほしい。
 - ・また、施設の縮減だけではなく、前向きな話として、例えば、デマンドバスや二次交通整備等の話も必要かと思う。資料の説明を聞く中で、北杜市の現状を踏まえると反対意見は出ないとは思いますが、前向きな話がないと、ネガティブな内容なので感情的に賛成しにくいのではないかと。
- 事務局
- ・まず、スケジュール面においては、今回の改訂の背景として総務省からの通達により、令和3年度末までに改訂を行わなければならない点がある。また、合わせて、本年度については、市の最上位計画である総合計画、行財政改革大綱の見直しを行っており、それらと合わせて、本計画の改訂を行いたいとも考えており、タイトなスケジュールについてはご理解願いたい。
 - ・なお、総合計画においては、現在、10年後を見据えて、バックキャストで検討しており、子育て、暮らしやすさ、都市基盤強化等を支える1つの手段として行革に取り組んでいる。その中で、行革改革推進委員会においても、公共施設については40%縮減の方向で考えている。総合計画に基づいて、「目指すまちづくりを実現するために、公共施設を最適配置」という前向きな内容も含めながら説明していきたい。
 - ・また、公共施設に関する地域からの意見収集については、令和元年度にワークショップを開催している。さらに、その際に若者の意見を聞くべきとのご意見があったため、令和2年度に市内の高校2年生を対象にアンケート調査を行っている。高校生アンケートの結果として、公共施設の統廃合については、回答者の91.1%が賛成である又はやむを得ないとの回答であった。
 - ・今後は、このようなアンケートを参考にするとともに、今年度については、地域委員会や区長会等において、説明を行っていく予定である。
- 委員
- ・40%縮減の目標については、これまでは築60年となり更新時期を迎えたものを縮減していくとの計画であったが、今回は更新時期に関わらず縮減対象とする内容で、より踏み込んだ内容であり賛成である。また、40%縮減の数値的な根拠も市民1人あたりの面

積の他自治体との比較により、妥当性がある。人口減少等の社会情勢が変化していく中で、施設を維持していくのは難しい問題である。例えば、JR東日本でも赤字が出ている中で、既存オフィスの売却や投資物件の見直しを行っており、これが世の中の流れであると考えている。

- ・住民から意見が出てくるとは想定されるが、1月に説明会も予定しているようであり、丁寧な説明を心掛けて何とか進めるほかないと考える。

委員 ・現計画は、今後30年間に更新時期を迎える施設の30%縮減との目標であったが、具体的にはどのような施設を縮減するような内容だったのか。

事務局 ・現計画では、法律で設置を義務付けられている学校や子育て支援施設等については、基本的に長寿命化、更新を行っていくもので、統廃合等の検討対象外となっていたが、今回の改訂では、それらの施設も対象に含めたものとしている。総合計画や行政財政改革大綱の見直しも行っており、今後総合計画にそって市民ニーズを踏まえた新たな施策を展開していくにあたって、公共施設全てに関して最適配置を検討する必要があると考えている。

- ・今回は、総合管理計画で全体の総量の目標を立て、各施設に関する具体的内容については、今後の個別施設計画において方向性を出していく。一言で縮減といっても、廃止だけでなく、民間譲渡、類似機能共有化、複合化・多機能化等の多くの手法がある。それらの手法を組み合わせ、住民サービスの維持と、すべての施設を維持できない財政的な状況とを可能な限りバランスさせながら、40%縮減に向け検討していきたい。

委員 ・現計画の30%縮減について、平成28年度末の策定以降の具体的な進捗状況、実績はいかがか。

事務局 ・清里小と高根北小学校の高根東小学校への統合等を行っている。
・また、本計画の策定の中で現在の公共施設数、面積を精査しており、現在は362施設となる見込みで精査中である。なお、現計画については、今後30年間に更新時期を迎える施設の30%縮減であり、施設全体に対して7%縮減の目標となっている。

委員 ・北杜市は面積が広いので、通常よりも施設が多く必要な部分もある。私の地域では昔保育園だった施設が、現在高齢者が集まる施設になり活用されている。その施設は、今回の計画に基づいた場合に、縮減の対象となるかもしれないが、地域には必要な施設である可能性もある。市の財政が厳しい状況もわかるが、地域の考えもぜひ配慮しながら進めてほしい。

事務局 ・人口減少・少子高齢化が進む中で、税収減、扶助費増加が見込まれる中、県内の同規模自治体においても、公共施設が縮減されていく流れとなっている。縮減せざるを得ない状況であるが、地域の意見を聞きつつ、民間譲渡、類似機能共有化、複合化・多機能化等の手法を組み合わせる中で、可能な限り配慮して検討していきたい。

委員 ・本日、説明の中で理由を伺うと40%縮減について納得できるが、今後40%縮減の数字のみがひとり歩きしてしまうことが懸念される。きちんと40%の理由について、市民へ

対して広く説明会を行ってやむを得ないと理解していただいたほうがよいのではないか。

事務局 ・本計画は、総量の目標を設定するものであり、その中で、パブリックコメント、地域委員会や区長会等での説明会を行う。今後は、個別施設計画策定時に具体的な内容となるため、その際により丁寧に説明を行っていききたい。

委員 ・減らさばかりでなく、まとめることで施設が高機能化する等、具体例を示して可能な限り説明していったほうが良いのではないか。例えば、プールについて取り上げるとプールについては、市内に2か所あるが、それを1つにまとめ、その際にトップアスリートがくるような高機能化する等の話があるとよい。そのようなことを検討していればお聞きしたい。

事務局 ・来年度に予定している個別施設計画の策定の中で、具体的な施設名を出して内容を決めていく。その際には、民間譲渡、類似機能共有化、複合化・多機能化等の手法を組み合わせる中で、施設は少なくなるが、施設によっては大きく、高機能化になる場合もあると考えている。

委員 ・北杜市小・中学校適正規模等審議会において、来年3月の答申に向けて議論を進めているが、40%縮減という言葉だけがひとり歩きしてしまうと、小・中学校適正規模等審議会での議論に混乱を生じる可能性もあり、慎重に進めてほしい。

委員 ・高根東小学校への清里小学校等の統合については、北杜市に合併したことから、高根という言葉にこだわらず、名称を北杜第1小学校にしてはどうかと提案したことがある。生活圏と旧町村が一致しているとも限らない。旧町村に対する心情を融和していくよう配慮してほしい。

委員 ・合併し、北杜市となって17年経ったが、合併前に、各町村で施設を整備したつけがまわってきたと感じており、縮減については仕方がないと感じている。一方で、指定管理により施設が使いにくくなったとの声を聞くこともあり、今後計画を進める中で地域の利便性減少も懸念されるため、住民説明を丁寧に行ってほしい。

委員 ・丁寧に説明をし、理解してもらうほかないと感じる。参考までに、私自身、他市で支店の統合を経験した。経営判断で統合を進めざるを得ない中で、クレームやお叱りを受けたが、説明しご理解を得るしかない。反発覚悟で説明を尽くして、乗り切ってほしい。

委員 ・行政改革推進委員会では、公共施設の管理も対象として議題にあがっている。そこで簡素で効率化、財政の健全化が2大テーマになっている。しかし、公共施設の議論においては、単に縮減、取り壊すではなく、地域をどうしていくかといったまちづくりと密接に関連していると感じている。北杜市の目指すまちづくりを実現するために、公共施設をこのようにしていくといったように議論・説明を進めていってほしい。

(その他、意見等なし)

(2) その他

- ・事務局より、次回の本検討委員会について令和3年11月12日（金）に開催する旨説明した。

（その他、意見等なし）

7. 閉会

以上